

## 102 回箱根駅伝の振り返り

## 1. 結果

- 青山学院 10 時間 40 分を切る大会新記録で 2 度目の 3 連覇（通算 9 回目）  
10 時間 37 分 34 秒（3 分 45 秒更新）：往路 5:18:08（4 秒更新）、復路 5:19:26（1 分 24 秒更新）
- 黒田朝日（青山学院） 1 時間 07 分 16 秒、驚異の区間新記録で 3 分 24 秒差を逆転。往路優勝。  
柏原竜二が 23.4 km だった 85 回に 4 分 58 秒差、86 回に 4 分 26 秒差を逆転している。
- 順天堂大学、昨年はわずか 7 秒差でシード権を喪失。全員が持てる力を十分に発揮、総合 3 位。
- 帝京、往路 17 位 4 分 15 秒差を逆転してシード権獲得（9 位）  
3 区から立て直し、徐々に差を詰め、最終 10 区で逆転。往路 17 位からのシード権獲得は史上初。
- 止まらぬ高速化・・・総合記録は、青山学院が一気に 10 時間 40 分の壁を突破。2 位の國學院も 1 分 12 秒更新。区間記録も、5 区間で 7 名が更新した（学生連合を含む）。2 区では、山口（早稲田）が区間 4 位の 1:05:47（区間記録まで 16 秒）、留学生と対等の走りを見せた。
- 記録と勝負は別物  
順天堂は、10000m の 10 人の平均記録（28:39:29）が 10 番目、ハーフの平均記録(1:0251)が 16 番目だったが、目標を上回る総合 3 位を獲得した。
- ルーキーの活躍・・・鈴木硫胤(早稲田)4 区区間賞 1:00:01、井上朋哉(順天堂)3 区 4 位(1:01:33)、高石樹(國學院)5 区 4 位 1:10:05、石川浩揮（青山学院）6 区 3 位（57:15）、野田顕臣(國學院)9 区 3 位(1:07:53)

順	大学	総合成績	往路成績	復路成績	備考
1	青山学院	10 : 37 : 34	① 5 : 18 : 08	① 5 : 19 : 26	黒田で流れができる。後半盤石
2	國學院	10 : 40 : 07	④ 5 : 20 : 02	② 5 : 20 : 05	ピーキングに課題
3	順天堂	10 : 43 : 55	⑥ 5 : 21 : 49	④ 5 : 22 : 06	目標を上回る 3 位
4	早稲田	10 : 44 : 29	② 5 : 18 : 26	⑧ 5 : 26 : 03	往路優勝を目前で逃す
5	中央	10 : 44 : 31	③ 5 : 19 : 44	⑥ 5 : 24 : 47	ピーキングに課題
6	駒澤	10 : 44 : 50	⑦ 5 : 23 : 00	③ 5 : 21 : 50	4 区村上大ブレーキ
7	城西	10 : 46 : 17	④ 5 : 20 : 20	⑦ 5 : 25 : 57	キムタイの貢献度大
8	創価	10 : 51 : 40	⑧ 5 : 24 : 02	⑬ 5 : 27 : 38	復路の戦力が薄い
9	帝京	10 : 53 : 15	⑰ 5 : 30 : 25	⑤ 5 : 22 : 50	3 区から立て直す。17 位から挽回
10	日本	10 : 53 : 56	⑨ 5 : 25 : 00	⑯ 5 : 28 : 56	10 区で中央学院を振り切る
11	中央学院	10 : 54 : 51	⑪ 5 : 26 : 22	⑭ 5 : 28 : 29	10 区、13.5 km から後退
12	東海	10 : 55 : 01	⑮ 5 : 28 : 55	⑮ 5 : 28 : 51	8 区 1 分差から届かず
13	神奈川	10 : 55 : 09	⑭ 5 : 28 : 25	⑩ 5 : 26 : 44	シード権争い 7 区から後退
14	東洋	10 : 56 : 27	⑮ 5 : 28 : 55	⑫ 5 : 27 : 32	往路の遅れを最後まで取り返せず
15	日本体育	10 : 56 : 42	⑯ 5 : 30 : 04	⑨ 5 : 26 : 38	往路の遅れを最後まで取り返せず
16	東京国際	10 : 58 : 16	⑰ 5 : 30 : 45	⑪ 5 : 27 : 31	エティーリも不発
17	山梨学院	10 : 58 : 20	⑫ 5 : 27 : 28	⑰ 5 : 30 : 52	キビエゴだけでは？
18	東京農業	11 : 01 : 12	⑬ 5 : 28 : 02	⑰ 5 : 33 : 10	往路健闘。復路戦力不足
19	大東文化	11 : 04 : 57	⑱ 5 : 30 : 43	⑳ 5 : 34 : 14	1 区の悪い流れを挽回できないまま
20	立教	11 : 05 : 58	⑳ 5 : 33 : 05	⑱ 5 : 32 : 53	1 区の悪い流れを挽回できないまま
16	学生連合	10 : 57 : 35	⑳ 5 : 32 : 02	⑦ 5 : 25 : 33	1 区、7 区、10 区大健闘

## 2. 青山、國學院、駒澤、順天堂の区間の概要及びシード権争いの推移

今回、前半の入りと後半の走りの関係を調べてみました。前半の突っ込み過ぎが原因で、後半大きなブレーキを起した選手は殆どいませんでした。後半落ちたにしても、最小限に抑えています。後半の記録は、区間記録から各区間の測定ポイントの記録を引き算して出しました。

この原因として、①箱根に向けしっかりトレーニングを積んでいること、②20 km以上を走るレース戦略ができていて、この2つが考えられます。

チームや個人の目標を達成するための必要十分条件は、持ち記録ではなく次の二つになります。

- ① ピーキング ② レース戦略(最初の入り方、ペース配分、仕掛けのタイミング)

代表的な成功例：10 区の佐野颯人（学生連合） 代表的な失敗例：4 区の村上響（駒澤）

1 区 氏 名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	5 km～中継		記録順	備 考
小河原陽琉：青山	28:37	62:14	14:04①	47:43⑱	1:01:47⑱	前半の先頭集団が後半のダウンに影響
青木瑠郁：國學院	28:02	60:45	14:10⑧	46:18①	1:00:28①	賢いレース運び。余力を残して中継
藤田 大智：中央	27:41	63:21	14:01①	46:33②	1:00:37②	レースを主導し区間2位
池間凜斗：順天堂	28:30	62:48	14:10⑧	47:10⑩	1:01:20⑩	想定内の滑り出し
小山 翔也：駒澤	29:24	62:38	14:10⑧	46:38⑥	1:00:48⑥	順調な滑り出し
原 悠太：帝京	28:49	61:21	14:04①	49:17⑳	1:03:09⑳	大ブレーキ、前と離れ過ぎ

藤田（中央）が1 km 2分47秒で入り、前半を引っ張る。5 kmで中央、青山、東海、東京国際、帝京、日本体育、大東文化が先頭グループ。6秒遅れで後続集団が続く。6.6 kmで立教が脱落。8 kmで帝京が脱落。11.5 kmで、國學院、東洋、中央、日本体育、中央学院、学連が先頭集団。青山学院が遅れだす。16.7 kmから青木（國學院）が満を持してスパート。中継まで熾烈な争い。藤田は青木に交わされたが、マイペースで区間2位（区間新）を確保。5 kmでの先頭集団のうち5校が、青木から1分以上遅れの13位以下で中継。学生連合の川崎（筑波）が、1:00:38の区間新(参考記録)の区間3位で大健闘。3人が区間新の高速レースとなる。

2 区 氏 名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	横浜駅 8.3 km～中継	記録順	備 考	
飯田 翔大：青山	27:52	63:18	23:30⑮	42:59⑨	1:06:29⑩	3強接近。流れを作る。
上原疏翔：國學院	28:17	60:30	23:07⑦	44:05⑫	1:07:08⑫	後半伸びず。流れは維持
吉岡大翔：順天堂	28:08	62:25	23:12⑨	43:16⑨	1:06:28⑨	エース対決で健闘
桑田 駿介：駒澤	28:12	60:48	23:14⑭	43:05⑦	1:06:19⑧	國學院を逆転。青山との差を拓ける
楠岡 由浩：帝京	27:53	61:43	24:03⑳	47:47⑳	1:11:50⑳	独走で力発揮できず、10位まで7:09
キムタイ：城西	27:41	62:21	23:01⑥	42:08①	1:05:09①	最高の走りで首位。大きな貯金
山口智規：早稲田	27:53	61:16	22:54②	42:53⑤	1:05:47④	留学生と対等の走り。区間新に迫る
エティエリ：東国	27:07	59:30	23:00⑤	43:14⑧	1:06:14⑦	前区間新保持者、山口、溜池に遅れる
西村 真周：東洋	28:35	61:18	23:48⑱	46:36⑰	1:10:24⑱	後半に大きくペースダウン

駒澤が國學院に29秒、青山学院に69秒先行。3強の差が接近する。キムタイ（城西）が1:05:09の区間新で大きな預金を作り、3区以降の展開を楽にした。溜池（中央）は横浜駅前（8.3 km）を22:45の最速で入ったが、そこからの後半のラップが区間11位とややペースダウン。楠岡（帝京）は20位からの独走となり、力を発揮できず区間最下位に終わった。帝京は全参加校中、最悪の予想外れの展開となった。20年連続シード権獲得中の東洋が、15位に後退。山口（早稲田）が留学生と対等の走りで1時間05分47秒の区間4位。区間記録保持者だったエティエリに先着。

3区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	藤沢 7.7 km～中継		記録順	備考
宇田川瞬矢：青山	27:50	62:20	21:05	40:06	1:01:51⑦	駒澤と 2:09、國學院と 1:09 差
野中恒亮：國學院	27:37	60:54	20:59	39:23	1:01:22③	駒澤と 1:00 差
本間 颯：中央	27:45	62:45	20:44	39:24	1:00:08①	城西との 43 秒を逆転
井上朋哉：順天堂	29:10	62:50	21:10	40:13	1:01:33④	力を十分に発揮し、区間 4 位
帰山 侑大：駒澤	28:58	60:32	20:34	40:17	1:00:51②	國學院に 1:00、青山に 2:09 リード
島田 晃希：帝京	28:32	60:56	21:10	40:34	1:01:44⑤	区間 5 位の走り、10 位まで 6:23

スピードランナーを揃えた中央（本間）が区間賞で首位に立ち、城西に 58 秒差をつける。駒澤が國學院、青山学院を引き離す。井上（順天堂）は 10000m の持ち記録が 20 位ながら、区間 4 位の好走で上位争いに入ってきた。島田（帝京）が、2 区までの悪い流れを絶つ走り（逆転の始まり）。藤沢までの全員の記録はなく、通過順位は不明。

4区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	二宮 9.1 km～中継		記録順	備考
平松 享祐：青山	28:25	62:04	25:26④	35:19③	1:00:45③	駒澤を逆転、國學院に迫る
辻原 輝：國學院	28:28	60:51	25:12①	35:47⑤	1:00:59④	3 位に進出
岡田 開成：中央	27:37	61:11	25:21③	34:45①	1:00:37②	
川原疏人：順天堂	28:25	62:45	25:54⑨	36:03⑨	1:01:57⑧	着実に 6 位をキープ
村上 響：駒澤	29:14	61:46	25:47⑧	37:37⑩	1:03:24⑩	大誤算で 7 位に後退
谷口 颯太：帝京	28:50	63:29	26:07⑫	35:44④	1:01:51⑦	二宮から追い上げる、10 位まで 5:33
鈴木疏胤：早稲田	30:41	—	25:16②	34:45①	1:00:01①	区間新に 1 秒届かず

駒澤が村上の大ブレーキで 7 位に後退するも、國學院との差 1:25、青山学院との差 0:30 で、優勝争いは十分可能の範囲。ルーキー鈴木（早稲田）が区間記録に僅か 1 秒届かなかった好走で、首位の中央に迫り往路優勝の目標が近づく。

5区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	大平台 7.1km～中継		記録順	備考
黒田 朝日：青山	27:38	61:39	21:51①	45:25①	1:07:16①	3:24 差を逆転、驚異の新記録
高石 樹：國學院	28:58	—	22:21④	47:44④	1:10:05④	切れ味良い走りで区間 4 位の好走
小林侑世：順天堂	28:58	62:46	22:30⑤	48:01⑤	1:10:31⑤	確実に力を発揮
安原 海晴：駒澤	28:46	62:08	22:41⑦	48:57⑧	1:11:38⑦	黒田の走りで優勝から遠ざかる
浅川 侑大：帝京	28:47	61:59	23:03⑫	48:48⑧	1:11:51⑧	10 位まで 4:15
工藤慎作：早稲田	28:32	60:06	22:06②	47:40③	1:09:46③	体不調でやや誤算、往路優勝を逃す

黒田の驚異的な走りで、青山学院が優勝の流れをしっかりと作った。工藤は、「体調が悪かった」（監督談）と聞いた。区間 3 位は悪い結果ではないが、本人やチームとしては誤算だったに違いない。3.6 km の函嶺洞門では、工藤が黒田より 7 秒早いラップで通過、これも後半に響いたのではないかと。ルーキー高石（國學院 1 年生）の区間 4 位は好走、青山と 1 分 54 秒差で逆転優勝の可能性を十分残す。駒澤は往路で青山から 4:52 遅れ、優勝争いに暗雲。シード権争いは混とんとしており、往路 19 位までに可能性は残っている（10 位と 19 位の差は 4 分 35 秒）。

6区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	小涌園 9.1 km～中継	記録順	備考	
石川 浩輝：青山	13:49	—	26:27⑤	30:47①	57:15③	國學院との差を更に 89 秒拡げる
後村光星：國學院	28:31	63:43	26:17③	32:27⑮	58:44⑧	後半ペースダウン
谷本昂士郎：順天	13:50	68:54	27:00⑮	31:58⑨	58:58⑫	堅実に繋ぐ
伊藤 蒼唯：駒澤	28:29	61:16	25:39①	31:11⑨	56:50②	区間 2 位も青山との差は 4:27
廣田 陸：帝京	28:38	61:48	26:39⑧	31:52⑦	58:31⑥	10 位まで 3:39
大岩 蓮：神奈川	29:18	64:03	26:24④	31:20⑤	57:44⑤	区間 5 位と健闘

後村（國學院）は小涌園までの入りが最も速かったが、後半にペースダウン。青山学院のルーキー石川が、駒澤との差を 3 分 23 秒に広げ、7 区のプレッシャーを小さくする。伊藤（駒澤）が区間 2 位で青山を追ったが、石川も区間 3 位で、僅か 25 秒挽回しただけである。谷本（順天堂）は小涌園までの走りは 15 番目であったが、堅実な走りで後半に盛り返す。シード権争いは混沌状態。帝京は着実に記録差を縮める。

7区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	二宮 11.8 km～中継	記録順	備考	
佐藤 愛斗：青山	27:56	63:53	33:45③	29:04⑨	1:02:49③	堅実に繋ぐ
高山豪起：國學院	28:26	61:42	32:45①	28:10①	1:00:54①	青山に 1:28 差まで詰める
玉目 陸：順天堂	28:14	63:58	33:26②	28:55⑤	1:02:21②	区間 2 位で 6 位に浮上
谷中 晴：駒澤	13:56	60:57	34:40⑫	28:58⑥	1:03:38⑨	7 位、青山と 5:16 差、優勝が遠のく
三角洸太：中学院	29:18	63:04	34:53⑰	29:28⑭	1:04:21⑮	10 位、7:29:38
滝本朗史：神奈川	28:50	63:34	34:46⑮	29:23⑬	1:04:09⑫	11 位、7:30:18
鈴木 天智：東海	28:47	62:28	34:26⑩	29:13⑪	1:03:39⑪	12 位、7:30:38
柴戸 遼太：帝京	28:27	63:10	33:55⑤	29:12⑩	1:03:07⑥	14 位、7:32:03

高山（國學院）が区間賞の走りで 1 分 28 秒差までに挽回し、逆転の可能性も出てきた。駒澤（谷中）は、区間 9 位と振るわず、優勝争いから遠のく。早稲田が区間 12 位で、首位争いから後退する。順天堂が 6 位と、着実に順位を上げる。10 位中央学院と 14 位帝京との差 2 分 25 秒に 5 校がひしめく大混戦である。

8区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	茅ヶ崎 6.9 km～中継	記録順	備考	
塩出 翔太：青山	28:56	61:54	19:29③	44:16①	1:03:45①	國學院を着実に離す
飯國新太：國學院	28:40	61:51	19:46⑤	44:17②	1:04:01②	青山に -16 秒は痛い
堀野正太：早稲田	30:11		19:12①	46:57⑰	1:06:09⑯	4 位、後半大きくペースダウン
永原颯磨：順天堂	13:43	62:25	13:32④	44:32④	1:04:04③	5 位、早稲田射程圏内に：8 秒差
山川 拓馬：駒澤	28:37	61:25	19:49⑧	44:45⑥	1:04:34④	上位争いに加われず
黒谷 優：中学院	29:00	63:11	20:06⑫	44:46⑦	1:04:52⑦	9 位、8:34:30
山口 月：日本	28:42	63:02	20:16⑯	46:30⑯	1:06:46⑱	10 位、8:34:43
ロホマン：東海	29:08	62:40	20:05⑪	45:00⑨	1:05:05⑩	11 位、8:35:43
松井 一：帝京	28:55	62:83	19:58⑧	44:36⑤	1:04:34④	12 位、8:36:37 区間 4 位
遠藤優裕：神奈川	29:39	64:18	20:22⑰	46:48⑱	1:06:48⑳	13 位、8:37:6

青山学院が國學院をじりじり引き離していく。駒澤は優勝争いからほぼ遠のく。3 位争いは中央が一步リード。4 位早稲田 1 分 53 秒差、5 位順天堂 2 分 01 秒差、城西 2 分 25 秒差の混戦模様。東海、帝京が日本に迫る。シード権争いから、神奈川が脱落しつつある。

9区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	権太坂 7.8 km～中継		記録順	備考
佐藤 有一：青山	28:08	63:53	22:01①	45:37②	1:07:38①	優勝安全圏に入る区間賞
野田顕臣：國學院	29:09	61:29	22:15③	45:38④	1:07:53③	2位、好走も青山に後れを取る
吉居 駿恭：中央	27:45	63:45	22:22⑥	46:25⑩	1:08:47⑧	3位、足を痛め不発の区間8位
小平敦之：早稲田	30:05	62:28	22:19⑤	45:26①	1:07:45④	4位、順天堂を46秒に引き離す
石岡大侑：順天堂	28:41	63:10	22:04②	46:19⑨	1:08:23⑤	5位、権太坂から崩れず
菅谷 希弥：駒澤	28:56	61:24	22:45⑩	46:32⑪	1:09:17⑩	7位、上位争いからも遠のく
中澤 星音：日本	29:39	63:066	23:00⑰	46:33	1:09:33⑬	9位、9:44:16
山中航太：中学院	29:40	63:18	22:52⑫	46:57⑮	1:09:49⑯	10位、9:44:19
尾崎 仁哉：帝京	28:54	62:18	22:18④	45:37③	1:07:55④	11位、9:44:32、10位が射程圏
中野 純平：東海	29:10	62:18	22:56⑮	46:35⑫	1:09:31⑫	12位、9:45:14
花井 創：神奈川	28:52	63:29	22:36⑧	46:08⑥	1:08:44⑦	13位、9:45:50

青山学院が國學院との差を1分59秒とし、安全圏に入る。3位争いは、2分08秒以内に、中央、早稲田、順天堂、城西の4校がひしめく。駒澤は3位争いからも脱落。シード権争いも、1分36秒以内に5校がひしめき、最終10区は激しい展開が予想される。

10区 氏名：大学	自己記録		前・後半の記録と通過順位及び区間記録と区間順位			
	10 km	ハーフ	新八山橋 13.5 km～G		記録順	備考
折田壮太：青山	27:44	62:51	38:58②	29:01③	1:07:59②	國學院を寄せ付けず
尾熊迅斗：國學院	28:36	61:46	39:22⑤	29:11⑤	1:08:33④	過去最高の2位
山本 悠：順天堂	28:47	63:06	39:02③	29:18⑥	1:08:20③	区間3位で早稲田、中央を逆転
瀬間元輔：早稲田	29:21	63:33	39:19④	30:21⑫	1:09:40⑪	順天堂と46秒差を逆転される
吉中 祐太：中央	28:24	60:45	39:58⑩	30:35⑭	1:10:33⑯	5位後退は誤算か
佐藤 圭太：駒澤	27:29	—	38:51①	28:40②	1:07:31①	意地の区間新記録更新
鎗田 大輝：帝京	28:41	64:33	39:38⑦	29:05④	1:08:43⑥	区間6位でシード権獲得
大仲 竜平：日本	28:50	62:55	40:01⑭	29:39⑨	1:09:40⑪	13.5 kmから中央学院を突き放す
成川翔太：中学院	29:14	63:09	39:58⑫	30:34⑬	1:10:32⑮	18 kmで力尽きる
竹割 真：東海	28:47	62:54	39:49⑨	29:58⑩	1:09:47⑬	前との差を詰められないまま終了
佐野颯人：武蔵野	28:46	63:12	39:59⑫	28:34①	1:08:33④	後半の走りは最速で区間4位

折田（青山学院）が國學院を寄せ付けず、大幅に大会記録を更新して3連覇達成。國學院も大会記録更新。吉中が区間16位で3位から5位に降下。順天堂は新八ツ山橋（13.5 km）通過が5位。そこから驚異的に追い上げ、中央との差40秒、早稲田との差29秒を逆転し、3位入賞を果たした。

シード権を争った4校の選手の走力はほぼ同じである。新八ツ山橋で帝京が9位に浮上、日本と中央学院が併走して僅か7秒差で通過した（繰り上げた帝京に逆転されたことは、監督から選手たちに伝達されたと思われる）。帝京は、新八ツ山橋から後続の2校を30秒以上引き離して9位でゴール。新八ツ山橋から大仲（日本）が勝負をかけ、成川（中央学院）との併走が続いたが、18 km過ぎで成川が力尽きた。

学生連合の佐野（武蔵野学院）が後半を区間新記録の佐藤を上回る最速で走り、区間4位と好走した。

### 3. 市民ランナーが学びたいこと

ランニング練習会でやっている内容が殆どです。まず頭で理解し、体で覚えましょう。

#### 【大会で成功する要因】

- ① ピーキング
- ② レース戦略(最初の入り方、ペース配分)  
最初は、やや抑え気味に入る方が成功します。

#### 【ランニング技術】

##### ● フォアフットランの習得

選手たちは、フォアフット着地がしっかりできており、厚底シューズを履きこなしています。皆さんの走りを観ると、フラットフットや踵着地の人が多くいます。故障やケガのリスクが高くなります。

##### ● リラクゼーション

いい走りをしている選手のフォームは、力みがなく、リズムカルで流れるような動きです。頑張ろうとすると、顔がいかつくなり強張ってきます。強張りが肩に伝わり、ぎこちない動きになってきます。勝負をかける時は、先ず大きく息を吐いてみましょう。動きが更によくなります。苦しくなった時は、頑張ろうとせず、笑ってみましょう。良い動きを取り戻してくれます。

#### 【フォアフット技術の習得練習】

##### ● フォアフットドリル

縄跳び、スキップ、ラダーエクササイズ、上半身と下半身の連動エクササイズなど

##### ● スロージョギング

#### 【必要な体力要素】

##### ● 体幹強化（体軸づくり）

スクワット、ランジ、各種のプライオメトリクス  
プランク（4ポジション、サイドプランク、バック）

#### 【良い姿勢（健康やウォーキング、ランニングのための基礎：土台）】

##### ● 歪みを修正するストレッチング

##### ● 股関節、腰関節、骨盤、肩甲骨などの柔軟性を高めるエクササイズ

後記 選手たちの前半の走りと後半の走りの違いを調べてみました。後半部分のラップタイムの計算に時間がかかり、報告が遅くなりました。

選手たちは、十分にトレーニングされており、箱根に照準を合わせているので、前半の入りで大きく失敗した選手は数多くはありませんでした。勝負と記録は別物であることも改めて認識することができました。今後も高速化は進み、戦力の学校間格差も小さくなっていきそうです。（岡田一彦）